

研究課題名：	院外心停止をおこした冠動脈疾患患者の院内死亡率と神経学的予後の予測因子を検討した臨床研究
研究機関名 所属（診療科等）：	研究事務局 さいたま赤十字病院 循環器内科 松田 隼治 総合研究代表者 さいたま赤十字病院 循環器内科 松田 隼治
研究責任者及び職名：	さいたま赤十字病院 循環器内科 松田 隼治
研究期間：	2015年 1月 1日 ～ 2019年 3月 31日
研究の目的と意義：	院外心停止の原因として冠動脈疾患は頻度が高い。自己心拍再開後に冠動脈造影によって原因精査を行った患者様は、それができなかった患者様に比べて院内死亡率、神経学的予後が良いことが報告されている。しかし冠動脈造影の所見から解剖学的な複雑性がどの程度、院内死亡率や神経学的予後に関与しているかを研究した報告はない。本研究では冠動脈造影によって明らかとなった冠動脈疾患の解剖学的複雑性が院外心停止の原因として冠動脈疾患が疑われた患者様の院内死亡率や神経学的予後にどの程度関与しているか検討する。
研究内容：	当院救命センターに搬送された院外心停止患者様の中から自己心拍再開し冠動脈造影を施行した患者を対象とする。30日後の院内死亡率、神経学的予後を予測するため、患者の基本的な特性、病院前情報、冠動脈造影所見を後ろ向きに電子カルテから情報を収集する。対象患者様より取得した上記診療情報を用いる、介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究。
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者様の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者様の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先： (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 循環器内科 氏名：松田 隼治 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話：048-852-1111